

## 教科書編集部便り

### 遠いようで近い古典

高校生に古典に関するアンケートをとったところ、「『掃除』よりも苦手」という結果が出たことがあるそうです。光源氏の波乱に満ちた華麗な生涯も、高校生にとっては、校内の掃除より苦手ということになってしまいました。

では、中学校現場では？と、先生方いかがしてみると、やはりここでも、生徒たちの古典に対する苦手意識が見受けられました。その要因としては、語彙や仮名遣いがわからない、という表現上の問題や、時代背景がわからないために、自分とは関係のない別世界の話だと思ってしまうことが多いようでした。

次のような文章があります。

にくきもの 急ぐ事あるをりに来て、  
長言ながことするまらうど

(にくらしいもの 急用のある時にやってきて、長話をする客)

思わず「ある、ある」とうなずいてしまうような状況ではないでしょうか。これは、生徒たちが「春はあけぼの」として学習する「枕草子」の中にある章段の一部です。言葉遣いは違うけれど、どうやら清少納言の時代の人々も、今の人々と同じように、「もう、この忙しいときに！」と憤ってしまう気持ちに変わりはなかったようです。そう考えると、遠かった古典の世界も少し近づいてくるのではないのでしょうか。

今号の特集にもあるように、中学校では古典に「親しむ」ことが学習の主眼となります。編集部では、生徒にとって親しみやすい様々な古典作品の提出を目指しています。そして、それらの作品をきっかけに、別の章段に読み広げたり、古典の一節を引用して文章を書いたりしていけるような教材化を検討し、編集を進めています。

## お知らせ

### 平成22年度「言語教育振興財団」研究助成金一般公募

言語教育（国語教育・外国語教育等）の充実・発展を図るために、理論と実践の分野について優れた研究開発を行う団体または個人に対して助成します。

助成内容	①言語教育の内容・方法に関するもの（教育内容・方法部門） ②言語教育教材の質的向上に関するもの（教材部門） ③教育機器を利用した言語教育の在り方に関するもの（教育機器部門）
研究期間	平成22年4月～23年3月（原則1年間）
応募資格	言語教育（国語、英語、日本語等）に関して研究開発を行う教員及び教育開発を行う小・中・高等学校・大学・教育研究団体（学校の学年・教科単位を含む）
助成件数及び金額	助成件数は80件まで。助成金額は1件につき20万～50万円
応募方法・締め切り	・所定の申請用紙に記入の上、研究開発活動についての企画書または実施した実践報告書等の参考書類を添えて、平成21年12月25日（金）必着で、当財団事務局に郵送。 ・申請用紙を希望される方は、直接又は返信用封筒を同封の上、当財団事務局までお申し込みください。 ・この応募要項については、都道府県教育委員会等推薦の場合も同様に扱います。
決定・発表	当財団「選考委員会」にて選考を行い、選考結果を平成22年2月末までに通知。 平成22年3月末に銀行振り込みで交付します。
問い合わせ先	財団法人「言語教育振興財団」事務局 〒141-0021 東京都品川区上大崎2-19-9 TEL 03-3493-7340 FAX 03-3493-2174